

株式会社アークスジャパン

株式会社アークスジャパンは、同社代表中島剛氏が設立したシステム受託開発業のプライムシステムデザイン株式会社の子会社として発足した。
事業拡大に伴い2007年11月に分社化し株式会社アークスジャパンとして設立された。
設立当初は、エンジニアの人材派遣を主にしており、社会の情勢の流れから派遣業だけでなくコンピュータ及び情報通信に関するシステムインテグレーション事業や、パッケージソフト製品の販売等を行っており、特に経営支援や作業工程での生産率向上につながるソフトに着目しており、注力している。

作業を「見える化」して カイゼンを図る

各企業様は、直接売上の向上に取り組んでいる事が多いのですが、弊社は賃金を流出させない工夫も必要と考え、作業工程の中の無駄を省き生産性の向上を図る事が大切であると考えます。

弊社が、主力の製品として取り扱っている「カイゼンの達人」というソフトは、その無駄を改善し生産性の向上を図るソフトです。

カイゼンの達人 MASTER OF THE KAIZEN



製造現場では、同じ作業でも担当者によって作業量や熟練度により作業工程の時間や製品の出来具合が変わります。このため

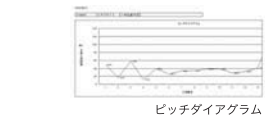
技能の平準化や作業工程の改善が必要となります。その改善にしてもストップウォッチで時間を計りパソコンに打ち込んで表に出しチェックしたり、その場で熟練者が指導するぐらいしかできませんでした。その作業時間のチェックや指導の仕方でも人によるもので、最適な改善は難しいものでした。「カイゼンの達人」は、ビデオカメラ等で録画した作業工程の動画をソフトに取り込み、その動画の流れを動作要素ごとに区切る事が簡単に出来ます。区切る事で各動作要素の時間観測が行う事ができ、標準作業組み合せ表やラインバランス等の分析資料も作成できるので、作業工程に合わせた分析が容易に行えます。

また、一般作業者と熟練作業者の動画を個別にとり、それを同時に再生し、2画面で比較検討することで、問題点を「見える化」し、作業工程の中の無駄や無理、ムラ等の現状把握ができます。

比較動画を見ながら、現場以外でも落ち着いてコーチングができるので、言葉だけでは伝わりにくい説明も、これを活用する事で聞き手の理解度が向上します。その他、

簡単操作でどんどん「見える化」！
豊富な分析資料も自動作成

- 技能伝承に！
- 作業改善に！
- 標準作業に！
- ムダ取りに！
- 保全作業に！
- 安全教育に！
- 資料整理に！



標準作業組み合せ表

工程別能力表



作業手順書や作業要領書などの作成もできます。

このソフトを製造業様に活用して頂く事で作業工程の「見える化」を図り、作業工程で無駄を省くことや、指導者の技術継承を行う事で、生産効率の向上を図っていただけます。

電子ペーパーを使った ソリューション

また弊社では、新しい取り組みとして、電子ペーパーに着目しています。電子ペーパーとは、紙とディスプレイの両方の利点を持つメディアで、紙の長所とされる視認性や携帯性を保った表示媒体のうち、表示内容を電氣的に書き換えることができるものです。

この電子ペーパーはこれから一般的に実用化されていきます。例えば、物流ラベル

や生産システムの看板を電子化する事により、省エネ化や掲示版の自動化を図り、作業工程での生産率向上につながるソリューションのご提案もしていきます。

株式会社アークスジャパン

〒466-0058
名古屋市昭和区白金3-21-5白川ビル5階
TEL : 052-884-2536
FAX : 052-884-2540
担当 : 中島
Mail : tsuyoshi_nakashima@arksjapan.co.jp
URL : http://www.arksjapan.co.jp

<3月18日よりコチラへ移転します>
名古屋市中区栄3-18-1ナディアパーク
デザインセンター7Fラボ7号
TEL、FAXも変更になりますので、お手数ですがお問い合わせ時はホームページをご確認ください。

株式会社アイエスティ

株式会社アイエスティは、株式会社アイエス東海の兄弟会社として、2007年4月に設立した企業である。
株式会社アイエス東海は製造会社関連、公社関連のオープンシステム開発を行っている企業であるが、その中で何か特化したものを持つ事業をやりたいという思いで株式会社アイエスティを設立した。2009年6月からはGoogleとパートナーシップ契約し、愛知で数少ないGoogleエンタープライズパートナー企業として稼働開始し、中でもクラウドを使ったアプリサービス『GoogleApps』の販売、導入支援、サポート及び、それによるクラウドシステムの構築に重点をおいている。

クラウドで業務の

効率化を推進

弊社は現在、「オープンシステム開発」と、Googleのエンタープライズパートナーとして『Google Apps』というクラウドコンピューティングを使った「アプリケーションサービスの販売・導入支援・サポート業務」の二つの事業を軸に活動しています。
クラウドコンピューティングとは、コンピュータで使用するソフトウェアやファイルをクラウドというインターネット上の仮



様々なアプリケーションから展開される Google apps

Googleサイト用フォームガジェットとは…

通常のお問い合わせなどのフォームはCGI（Webサーバが、Webブラウザからの要求に応じて、プログラムを起動するための仕組み。）プログラムで作成されていますが、GoogleサイトではCGIは可動しません。そこでGoogleサイト上でも稼働し、入力内容が保存されるフォームを独自作成したものです。

シングルサインオンシステムとは…

ユーザが一度認証を受けるだけで許可されているすべての機能を利用できるようになるシステム。

想空間に処理・保存し、ネットワークを介してさまざまな作業を行うことを言います。クラウドを活用するためのアプリケーション「シオン『GoogleApps』や、『Office』に似たアプリケーション機能や、またグローバルウェア機能を併せ持つ製品で、ネットワークを通じて当製品のサービスを利用することが可能です。導入効果としては、容量オーバーによるサーバーの停止がなくなり、ファイルの容量も気にしなくて良くなります。多言語対応のため、現地の言葉で利用可能になり、メールの文字化けが無くなります。



<自社開発の顧客情報管理システム>

また、弊社はGoogleが提供しているサービスをより有効活用できるよう、提案や移行補佐も行っています。さらに、長年のオープンシステムの開発で培った技術と知識を元に、『GoogleApps』の基本サービスを補完するツールおよびサービスの開発も行なっています。弊社のアプリケーション開発事例として、共有アドレス管理ツール、Googleサイト用フォームガジェット、お客様へ情報提供するメール配信システム、シングルサインオンシステムなどがあります。

クラウドの活用によって コストを低減

今後も、クラウドを活用したITインフラ作りが不可欠です。そのITインフラ作りの中で『GoogleApps』を採用することで、様々な機能が利用できます。

弊社の特徴は、目的に応じて既存の

『GoogleApps』をベースにしなが、独自開発した他のツールやサービスなどを、目的に応じて加えてゆくことが可能なことです。それにより、初期開発コストやランニングコストを、大幅に削減することが出来ます。

多くのサービスから 取捨することが大切

現在、世界中に存在するクラウドには、数え切れない程の様々なサービスや技術が溢れています。その中で、どのサービスや技術が安定して利用できるかを、取捨選択することは大変困難な作業です。また提供しているサービス内容が変化すれば、その都度、取引先様のプログラムを修正しなければなりません。これらのサービスや技術は進化・更新・機能アップしています。弊社は今後も新しい知識・情報を取り入れながら、取引先様の業務に有効活用出来るよう、日々努めています。

株式会社アイエスティ

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦1丁目19番32号
広小路ビル8階
TEL : 052-220-0005
FAX : 052-223-0015
担当 : 営業部 田代
URL : http://www.istt.jp/

株式会社アドホック

株式会社アドホックは1982年に設立された企業で、当時では珍しい3次元CGシステムを使用しているCGアニメーション制作。そのCGは企業PRビデオやTVのニュースやスポーツ、バラエティ番組などに使われていた。

その後、その経験を生かし博覧会の展示システムを77年に制作した事を機に、様々な展示システムを手がけ、映像を主体としたシステム制作企業となり今日に至っている。

CGからマルチメディアへ

弊社は、CG制作の企業として始まりました。当時CGといえば一日0.5秒のアニメーションしかできず1週間不眠不休で制作しても3秒ほどのアニメーションでした。しかし当時では非常に珍しく、TV番組のお天気マークの制作、天気予報放映システムの構築、スポーツ番組の野球のスコアライブなど、常に新しいことを手がけていました。

そして77年に中部未来博で初めて博覧会の展示システムを手がけ、その後、デザイン博覧会の展示システム、科学館の学習システム、参加型シアターなど様々な映像を主体とした展示型システムを作り上げました。その他、1つのラインに複数チャンネルの音や映像・データをのせて会議運

営をサポートする多目的通信会議システムの開発や、観光バスや船舶、タクシーなどに搭載しGPSにより、自動で添乗員の代わりに観光ポイントの説明を音声や映像で行う自動ガイドシステムも開発。常に「新しい提案」をモットーに取り組んできました。

音声ガイドシステムの新しい利用法

この度、大手企業ショールームや博覧会、展示会での商品PR、啓蒙、ガイドなどを目的とした展示システムの開発で培った経験をもとに新しく事業商品として、ボイスペンの企画、提案をはじめました。ボイスペンは元々目が不自由な人に補助的につかっていたただくものとして作られました。誰もが簡単につかえるものとしてパンフレットにペンをあてそのパンフレット

に埋め込まれた見えないコードを読み取ることにによりボイスペンから音声ガイドされるというものです。これは蒲郡市にある博物館の展示物をガイドするのにも納入されておりです。

弊社では今後、これをガイドだけに限らず、企業の商品プロモーションや教育に向けて利用できないかと考えております。展示会等の場でパンフレットと一緒に使うことでより効果的になります。また、社内研修のような教育の場で、有力な社外講師など、費用をかけなくてもボイスペンを使うことで時間の制約もなくeラーニングと同じような効果がえられます。

最新のデバイスも有効活用するコンテンツ

ITを活用したコミュニケーションの世界では日々新しいものが誕生していますが玉石混交というのが現状で、その中から使えるものを見つけ、新しい組み合わせを見出すことができれば有効に利用することはできません。ボイスペンのような装置は次々と世の中に出てきますが、それを有効に使うためにはそのためのコンテンツが必要となります。既存のコンテンツをより使いやすくするシステムやデバイスを見つけた場合でも、デバイスに合わせたコンテンツの最適化が必要となります。

弊社はこれからも、今まで培ったコンテンツとシステム開発の経験を生かし、お客様に「新しい提案」をしていきます。



82
制作CG第1号PC-9801EでN88BASICを駆使してCG制作開始。



88
「少数精鋭」主義を看板に、科学館などの常設展示システムへと仕事の幅を広げました。



90
常設展示でクロマキー機能と3台のカメラをコントロールする参加型シアターを構築。



98
紙の魔術師杉井先生とのコラボレーション作品アドホックの自信作です。



05
ついに愛地球博開催！直前はアドホック社内もすごい事になってきましたが、多くの来場者に喜んで頂けて、社員の苦勞が報われました。



70
GPSにより、観光バスの位置情報に合わせた観光案内を展開します。



株式会社アドホック

〒464-0067
名古屋市千種区池下1-11-21
ファースト池下ビル3F
TEL：052-764-2650
FAX：052-764-2653
担当：今枝

サウンドウォークジャパン株式会社

サウンドウォークジャパン株式会社はいちベンチャーハウス出身企業のひとつであり、観光情報、地域情報、教材など持ち歩く情報としてiPhoneアプリを提供する企業である。映像や音声コンテンツを従来の放送のような一過性の提供ではなく、持ち運び、必要な時、好きな時または繰り返し、見たり聞いたり出来るコンテンツ、いわゆるVOD（ビデオ・オン・デマンド）として提供する。サウンドウォークジャパンの社名の由来は、観光案内情報を聞きながら歩いて、新しい発見をしながら目的地に着く意味が込められているとのこと。

電子書籍化で様々な

効率化を実現

弊社は、他社に先駆け、いち早くモバイルコンテンツの開発を行ってきました。現在では、情報を簡単に持ち出せるiPhone・iPadなどを活用した電子書籍による取扱説明書・業務マニュアル等のアプリケーション開発にも力を入れています。



このアプリケーションのメリットの一つは、取り扱い説明書でCGなどの動画解説を交え、実際の操作をより正確に、リアルに伝えることができるなど、従来の紙媒体ではできなかった表現方法が可能となる事です。

また、紙媒体では、仕様変更の際に高額な印刷コストが発生していましたが、電子書籍化により仕様変更が容易となるためコスト低減につながります。

さらには、情報の更新などが手軽に行えメンテナンスが容易になるなど、様々な効率化に繋がります。

顧客ニーズに合わせて

カスタマイズ

私共がこれまでのお客様との取り組みの中で強く感じてきたのは、個々のお客様が「自社で開発した商品の魅力をいかにわかりやすく伝えるか」を真剣に悩んでおられたこと、そしてその悩みは個々のお客様毎に異なる悩みであったことでした。

私共は個々のお客様の悩みを共有し、全員でアイデアを出し合い、お客さまの様々なニーズに二人三脚でお応えしてまいりました。その経験に裏打ちされた表現力が私共の強みであると自負しています。

独自の開発力で

新たな価値創造を実現

弊社は現在、大学の授業でeラーニング技術を用いた学内テストを行っております。

今後は、eラーニング技術の普及を想定し、工場の作業を明確化するコンテンツを開発するなど、新たな価値創造に向けた取り組みも始めています。



<自社作成アプリ例>

サウンドウォークジャパン株式会社

〒464-0092
 名古屋市千種区茶屋が坂2-6-C305
 TEL : 052-723-1550
 技術窓口：代表取締役 加藤 巧
 Mail : swj@soundwalk.co.jp
 URL : http://www.soundwalk.co.jp

株式会社テイクイット

株式会社テイクイットは、システム構築、開発、パッケージ製品の販売を行っている企業である。長年、システム開発に携わってきた創業者が、現状のシステム開発に疑問を感じ、よりエンドユーザーに近い視点で、システム開発のみでなくエンドユーザーに密着したサービスを提供したいとの想いから独立した。2004年6月の同社設立以降、広範囲に事業展開している。営業支援ソフトウェア『Ti@SFA』と、シフト管理ソフトウェア『Ti@Shift』を組み合わせる複合ソフトウェア『Ti@Cubic』も開発した。これにより、業務が各段に効率化されるという。同社では、EDIシステムの構築にも注力しており、小規模な製造業者・物流業者等も含め、さまざまな業界へEDIシステムの提案を行っている。また、新規事業として、自社技術を活用したデジタルサイネージ分野へも業務を進めている。

営業支援とシフト管理で業務の効率化を

弊社は、営業支援ソフトウェア『Ti@SFA』と、シフト管理ソフトウェア『Ti@Shift』、その二つを組み合わせる複合ソフトウェア『Ti@Cubic』を開発しました。

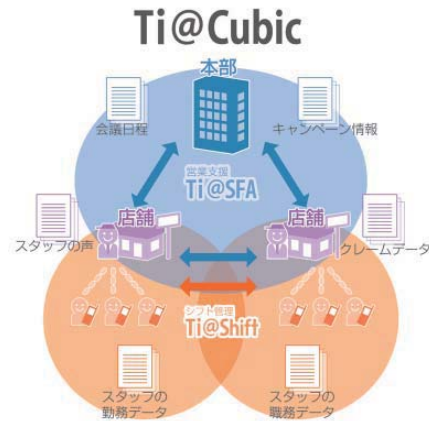
『Ti@SFA』は、各営業拠点での営業情報をネットワーク上で共有することができ、営業組織力を強化できるソフトウェアです。主な機能としてスケジュール管理機能、案件管理機能、日報管理機能、営業分



析機能、書庫機能があります。スケジュール管理機能では、会議日程を登録・確認するだけでなく、会議参加者にEメール（PC・携帯電話）を自動送信することができます。これにより、伝え忘れがなくなります。案件管理機能では、案件データをメンバーがいつでもダウンロードできる機能も備えています。また、基本的な機能は携帯電話でも操作可能で、外出先からネットワーク上の情報・状況把握が可能になります。

『Ti@Shift』は、シフト管理が可能なソフトウェアです。主な機能としてシフト申請機能、賃金も含めたシフトのシミュレーション機能及び実績管理機能、欠員発生時のヘルプ依頼機能があります。正確な店舗の人員費管理やシフト作成、タイムカードの集計における作業の削減が期待できます。『Ti@SFA』と同様、携帯電話でも操作することができます。また『Ti@Shift』は別途、カードリーダーを購入いただくことで携帯電話をかざすだけで出勤登録ができるようになり、タイムレコーダーの代わりとしてもご利用いただけます。

『Ti@Cubic』は、現時点では『Ti@SFA』や『Ti@Shift』の併用版を指し、業



務のさらなる効率化に繋がるソフトウェアです。日々の営業活動の中では、単なる数値のやりとりではなく、本社と営業拠点での報告・連絡のコミュニケーションが重要になります。『Ti@SFA』及び『Ti@Shift』の機能を組み合わせ、店舗ごとの日報・クレーム報告等の一元管理、お客様の声などの情報共有、マネージャー会議・キャンペーン情報を一斉に伝達することなども可能です。今後は併用可能な機能が増える予定です。

EDIによる情報共有と活性化

今後は、生産管理や販売管理などの基幹システム同士をインターネットを介した電子受発注管理でつなげるXMLを使ったりEDIシステムの構築・開発を進めていきます。例えば、EDIシステムによる電子受発注管理で製造業者と物流業者を繋げ、

EDIとは…

商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。受発注や見積もり、決済、出入荷などに関わるデータを、あらかじめ定められた形式にしたがって電子化し、専用線やVANなどのネットワークを通じて送受信する。紙の伝票をやり取りしていた従来の方式に比べ、情報伝達のスピードが大幅にアップし、事務工数や人員の削減、販売機会の拡大などにつながる。

(IT用語辞典e-Wordより引用)

情報を共有化することにより、業界の活性化に一役買いたいと考えています。また現在は、ASP型でのソフトウェア提供を行っておりますが、クラウドコンピュータリングの利用形態でのサービス提供を視野に入れ、展開していきます。

株式会社テイクイット

〒460-0022
愛知県名古屋市中区金山1丁目2番4号
ID AREAビル1F
TEL : 052-324-1981
FAX : 052-324-1981
担当:カスタマーサービス部 的場
URL:http://www.takeit.co.jp